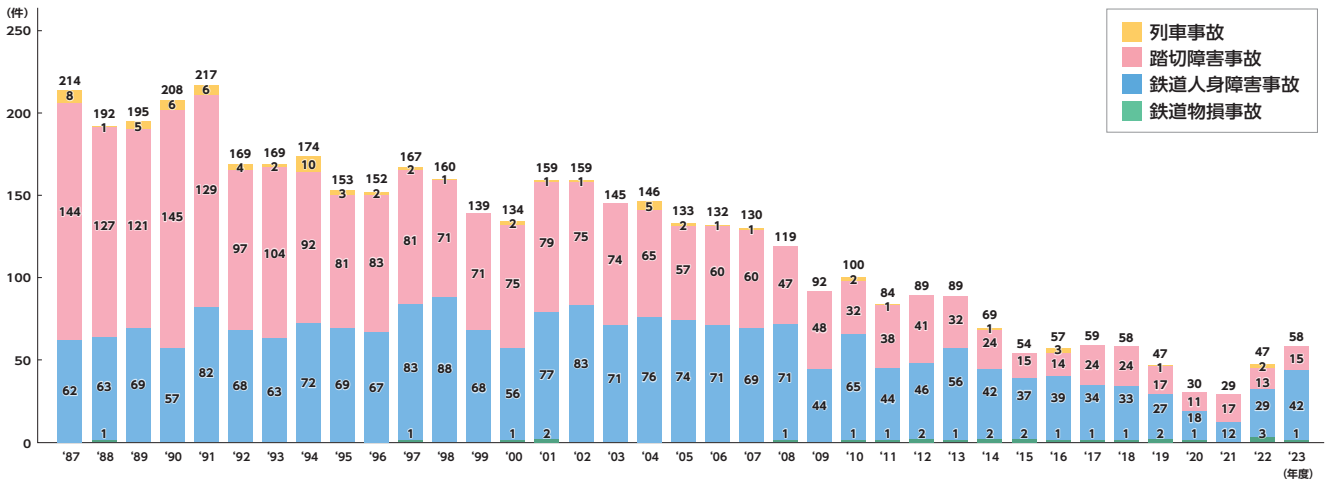


5

事故等の発生状況と再発防止に向けた取り組み

5-1 鉄道運転事故

2023年度は、鉄道運転事故の発生件数は58件となりました。福知山線列車事故の反省と教訓に基づき、今後も鉄道の安全性向上に向けて不断の努力を積み重ねてまいります。

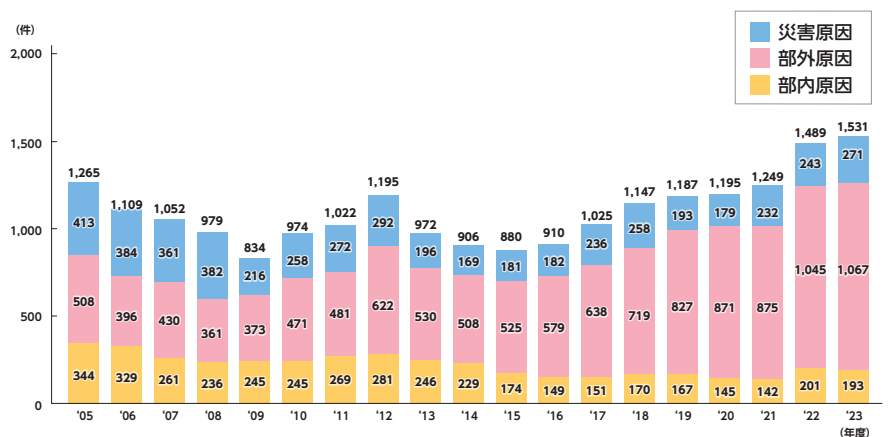


鉄道運転事故・・・省令に定められた、以下に該当する事故

列車事故	列車衝突事故、列車脱線事故および列車火災事故
踏切障害事故	踏切道において、列車または車両が道路を通行する人または車両等と衝突し、または接触した事故
鉄道人身障害事故	列車または車両の運転により、人の死傷を生じた事故
鉄道物損事故	列車または車両の運転により、500万円以上の物損を生じた事故

5-2 輸送障害

2023年度は、輸送障害が1,531件発生しました。線路内への立ち入り等による部外原因や降雨や地震等による災害原因が増加しています。今後も安全・安定輸送に向けて対策を講じていきます。



輸送障害・・・列車に運休または30分以上の遅延が生じたもの

災害原因	降雨、強風、地震等の自然災害が原因のもの
部外原因	列車妨害、踏切無謀横断、線路内立ち入り等が原因のもの
部内原因	車両等設備の故障、社員の取り扱い誤り等が原因のもの

◆豪雨災害

＜概況＞ 2023年6月30日から7月1日にかけて梅雨前線の活動が活発化、1日未明には山口県に「線状降水帯」が発生し、この大雨の影響で、美祢線（厚狭～長門市駅間）および山陰線（長門市～小串駅間）の鉄道施設において橋梁の流失等の大規模な被害が発生しました。長期間にわたり運転を取りやめることとなり、ご利用のお客様には多大なご不便をおかけしました。現在も美祢線および山陰線の一部区間で、バスによる代行輸送を実施しています。



橋梁の流失

◆地震災害

＜概況＞ 2024年1月1日16時10分頃、石川県能登地方において、最大震度7の「令和6年能登半島地震」が発生し、金沢支社エリアの複数の線区が被災しました。特に七尾線（津幡～和倉温泉駅間）は被害が大きく長期間にわたり運転を取りやめることとなり、ご利用のお客様には多大なご不便をおかけしましたが、国や自治体、地域の皆様に多大なるご協力をいただき、1月3日から順次運転を再開し、2月15日に全区間で運転を再開しました。



線路の被害

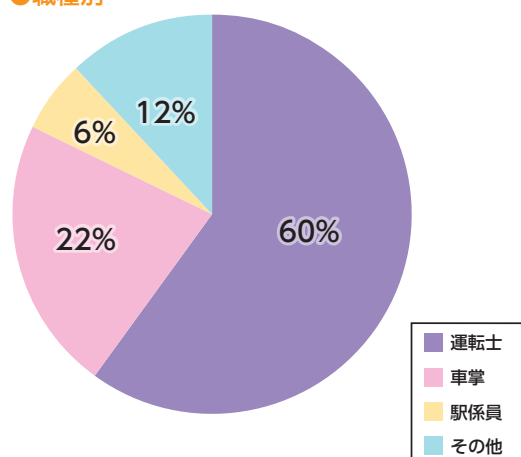


ホームの被害

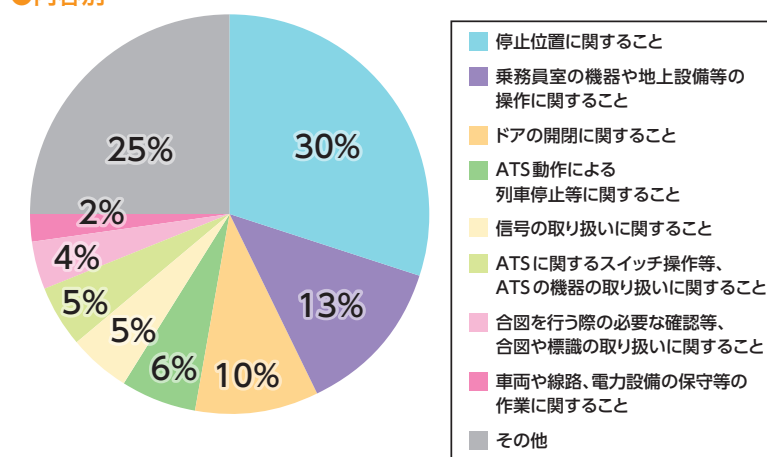
5-3 安全報告

2023年度は社員から約14,600件の安全報告がありました。そのうち、部内要因(人的要素)に関する報告は約3,100件で、内訳は以下のとおりです。

●職種別



●内容別



5-4 インシデント

インシデントとは鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態のことで、2023年度は1件発生しました。

発生日	発生箇所	発生事象	概況	対策
2023年 12月14日(木)	梅小路運転 区構内	SL炭水車の台車に 亀裂	定期検査に伴う台車の探傷検査を実施した際に、亀裂を確認しました	当該部分を探傷指定箇所として管理

5-5 行政指導等

2023年度は1件の行政指導を受けました。

◆山陽線 里庄～笠岡駅間における鉄道人身障害事故

＜概況＞ 2023年12月5日(火) 2時23分頃、山陽線里庄～笠岡駅間の上り線の線路保守作業を行っていた際、作業現場から離れた中坪一踏切付近で、列車の接近を作業現場に連絡する等の役割を担っていた係員が、列車が通過可能であることを示す白色の旗を表示する際に線路に近づき過ぎていたため、貨物列車と接触しました。当該係員は救急搬送されましたが、搬送先の病院で死亡が確認されました。

＜主な再発防止策＞

- ・係員の立哨位置に関する教育資料を改善し、教育訓練を実施
- ・作業責任者による具体的な立哨位置の指示、立哨後の確認
- ・係員が掲示する旗をLEDの表示に変更